持続性と利活用性を考慮したデジタルアーカイブシステム構築手法の開発

一、研究費種目　若手研究

二、課題番号　　二一K一八〇一四

三、研究期間　　二〇二一年度～二〇二三年度

四、研究経費　　直接経費二百六十万円、間接経費七十八万円

五、研究組織

　　研究代表者　中村　覚

六、研究の概要

今年度は静的サイトとしてデジタルアーカイブシステムを構築する手法を検討し、基盤となるシステム開発を行なった。具体的には、オープンソースWebアプリケーションフレームワークであるNuxt.jsを用いたシステム開発を行なった。CSVファイルの形式で用意した画像やメタデータに関する情報を読み込み、静的なウェブサイトを自動的に構築する。また上記システムを用いて、以下に示すデジタルアーカイブシステムを構築した。いずれも静的サイトとして構築し、GitHubなどのホスティングサービス上で公開している。渋沢栄一記念財団「渋沢栄一ダイアリー」／東洋文庫「『大正新脩大蔵経』底本・校本データベース」「酉蓮社（旧増上寺報恩蔵）蔵嘉興版大蔵経目録データベース」「東洋文庫水経注図データベース」／東京大学史料編纂所「正保琉球国絵図デジタルアーカイブ」「倭寇図巻デジタルアーカイブ」／国立歴史民俗博物館「デジタル延喜式」上記において、特に「正保琉球国絵図デジタルアーカイブ」「倭寇図巻デジタルアーカイブ」については、IIIFを用いた画像公開についても静的サイトで実現している。具体的には、IIIF Image API Level 0を採用し、事前にタイル画像を生成しておくことで、サーバレスなIIIF対応を行なっている。また、人間のためのユーザインタフェースに加えて、機械処理に適したデータセットを提供することで、計算機による二次利用も支援する。具体的な活用事例として、GoogleDataset Searchとの連携を実現している。